

本連盟は新会長、新理事長が就任するとともに、連盟運営に新しい力が加わりました。今年度より新たに役員になった方々を紹介します。



副会長 武内 彰

令和3年度より、副会長職を拝命いたしました。会員の皆様のために、微力ながらお役に立てるように尽力してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

私自身は、高等学校からバドミントン競技を始めました。当時は、指導していただける顧問の先生もおらず、自分たちでメニューを考えて、運営していく方式でした。良き先輩と出会い、バドミントンと勉強に向かっていく姿勢を大いに学ばせていただいたことを覚えています。大学では、バドミントンから離れていたのですが、教職についてからはずっとバドミントン部の顧問を続けさせていただきました。20代の頃、全日本教職員バドミントン選手権大会の東京都予選に出場させていただいた際、全国制覇をされた先生と対戦し、0本と1本で惨敗し、「自分の来るところではない」と痛感させられました。

その後、30代になって、再度挑戦するようになり、多くの先生方と共に、練習や大会に参加し、技術面や人間関係など様々なことを学ばせていただきました。そのご恩をお返ししたいという思いで、管理職になってからも顧問として生徒と接し、都高体連の専門部長も務めさせていただきました。

これからも「恩送り」という言葉を胸に、これまでお世話になったバドミントンと関係者の皆様のために、役割を果たしてまいりたいと考えております。



常任理事 藤井 弘行

本年度より、常任理事を仰せつかりました東京都の藤井弘行です。微力ですが、教職員連盟の運営に尽力させていただきます。

私が連盟の大会に参加し始めたのも、理事になることになったのも、バドミントンが大好きな先輩先生方との出会いがきっかけです。そして、その出会いは、私のバドミントン人生に大きな影響を与えていただきました。本連盟に関わり23年が過ぎました。今後とも、連盟の会員の皆さんがワクワクして事業に参加いただき、素敵な出会いが生まれるよう頑張ります。よろしく願いいたします。



常任理事 石原 典明

令和3年度より常任理事となりました、石原典明と申します。私は学生時代からバドミントンをしており、バドミントンを通して多くのことを学び、そして今でも付き合いのある大切な友をつくるきっかけにもなりました。そんな愛するバドミントンに感謝を込めて、少しでも恩返しをしていけたらと思っております。微力ではございますが、これからのバドミントン界に貢献していくとともに若い世代へと繋いでいくバトンのような役割ができればと考えております。皆さんの力をお借りしながら、精進して参りますのでどうぞよろしく願い致します。